

町の生活情報紙
— HIDE PUBLIC RELATIONS —

広報

いいい

9

13, September
2012
Vol.1026

一審入魂

写真 / 球審を務める渡部弘之さん(中)

- 03 いいでの新成人
～成人式、震災復興支援活動、アンケート結果～
- 07 第一小学校全面改築
- 08 いいで“めざみの里”まつり2012
～繋がる～
- 10 まちかどNEWS
第1回中村夏祭り／第13回真夏の雪まつり／飯豊分校閉校記念企画「校舎公開」／どぶロックフェスタ2012ほか
- 12 まちかどスナップショット
- 13 がんばりの軌跡／「住民主体のまちづくり」が表彰を受ける／緑のふるさと協力隊通信
- 14 直伝おふくろの味
- 15 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 16 ようこそ！わたしたちの倶楽部に／町長の見て歩き
- 17 健康ikiikiプラス
- 18 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 20 町室いいで ～諏訪神社神輿渡御行列～

町のホームページから さらに情報を！

町からのお知らせや情報は飯豊町ホームページにも掲載しています。大きなアイコンとすっきりしたデザインで、だれでも見やすく、欲しい情報が簡単にさがすことができるように工夫されています。どうぞアクセスし、生活情報に役立ててください。



www.town.iide.yamagata.jp



the most beautiful
villages
in japan

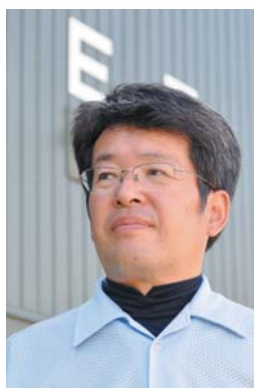
「日本で最も美しい村」連合

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

今月の

表紙

球児も審判も 真剣勝負



マスクを外した渡部さん。

残暑の8月下旬。球場に、胸にプロテクター、顔にマスクをつけた審判歴23年の渡部弘之さんがいました。日陰の無い球場で、場合によっては2試合連続で審判員となる場合もあるとのこと。審判員には、ミスの無い判断はもちろんのこと、トラブルが起こった際には迅速な対応が求められます。渡部さんは「審判の判断一つで試合の流れが変わることもある。選手同様、一瞬たりとも気が抜けません」と話してくださいました。



いいでの新成人

町では、お盆に合わせて成人式を開催しています。一人前の人間として社会的に認める式典。今年は96名が新成人となりました。

式に合わせて、新成人たちに「自分たちの将来」や「ふるさと」についてどのように考えているか、アンケート調査を行いました。

アンケート結果を、成人式の様子と新成人の震災復興支援活動と共にお伝えします。



成人を祝う

成人式開催

8月15日、「あ〜す」で、平成24年度の成人式が行われました。今年度の新成人は96名。そのうち、75名が式に出席しました。式典前の会場やホールは、旧友との再会を喜び、記念撮影や近況を報告し合う新成人たちで沸き返っていました。

式典が始まると、一転して会場は静寂に包まれました。

町長は式辞として、昨今の厳しい経済情勢を踏まえ「資本主義社会では、競い合わないと生き残れないとの考えがあります。が、競争と共生は相対するものではなく、表と裏の関係です。その間を新たな道として歩むことが、一生の仕事」と呼べる」と述べ、新成人を鼓舞しました。

成人者を代表して佐藤鷹政さん（樺出身・千葉県在住）が、宣誓。紙にしたためた宣誓文を読み上げると、最後に後藤町長を堂々と落ち着いた表情で見つめ、「これからは、俺たちが飯豊町を背負っていきます」と力強く宣誓しました。

式典終了後、めざましの里観光物産館で成人式実行委員会主催のパーティーが開かれました。



成人式の正装は「やっぱこれでしょう！」



仲間がそろってはじける笑顔



成人者代表による個性あふれる宣誓

PLAYBACK 1991.4.2 | 1992.4.1

◆出来事

- ・横綱千代の富士引退表明(5月14日)
- ・雲仙普賢岳で大火砕流が発生(6月3日)
- ・ソビエト連邦が消滅(12月21日)
- ・アルバービル冬季五輪(2月8日～)
- ・東海道新幹線のぞみ運行開始(3月14日)

◆世相・流行

じゃあ～りませんか、火砕流、若貴、僕は死にましえ～ん



成人の節目に 「大人になった自分たちにできること」

義援金を募る新成人

夏の日差しが照りつける8月11日、めざまみの里観光物産館に、新成人たちが集まりました。その数、両日合わせ14名。

成人式実行委員会（佐藤孝太委員長・黒沢在住）の呼びかけで、「新成人となる節目の年に、自分たちができる震災復興支援」の考えの下、義援金を募る活動が行われました。帰省客で込み合う中、額に汗をにじませ募金を呼びかけていました。

懸命に寄付を呼びかける新成人たちの声、募金していただいた方への深々と頭を下げる態度、それは、誰かのために行動できる立派な成人の

姿でした。

さらに、9月1日のめざまみの里祭り会場でも、来場者に募金を呼びかける新成人の姿がありました。

町の将来を担う新成人たちの、思いを形にする行動力、仲間と連携する団結力、に、彼ら・彼女たちの充実した将来と町の明るい未来が期待できます。

集まった義援金の送り先は、新成人たちの中学生時代の恩師の一人である伊藤久美子先生が、現在勤務されている宮城県女川町立女川第二中学校（全校生徒13名）です。

女川第二中学校では、義援金で生徒たちの運動着を購入予定とのことです。

ありがとう、私の生徒たち



皆さんは、私が教育現場に出て2年目に出会った生徒たちです。明るく素直でとても“なっつこい”生徒たちでした。そして、時折見せるみなぎるパワーを持つみんなに、私は必死に向き合っていたことを、今でもよく覚えています。

女川第二中学校の生徒たちは、震災の影響で島から離れ、今は、本土の別な中学校の一角を借りて授業を受けています。

「義援金を送りたい」と聞いたとき、驚きとともに、嬉しさがこみ上げ温かい気持ちになりました。以前から人の気持ちに寄り添える生徒たちだ感じていましたが、成人を迎え、遠く離れた人々にも手を差し伸べられる大人になったことを、心から嬉しく思います。ありがとう。

皆さんの輝かしい未来を、心から願っています。

皆さんの輝かしい未来を、心から願っています。

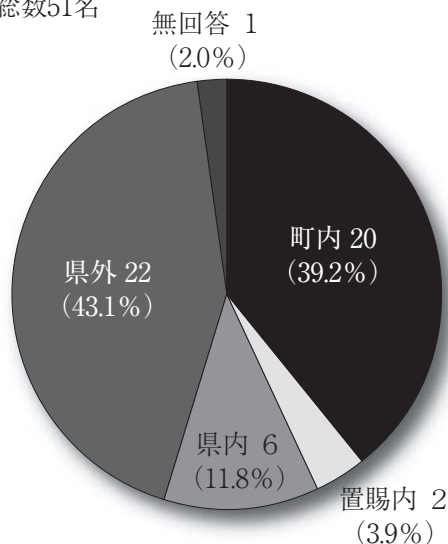
伊藤 久美子

新成人が考える「将来のこと」「町のこと」

アンケート

現在の住所は？

総数51名



将来への努力は？

総数51名

内容	回答数
勉強	10
仕事	7
貯蓄	6
何事も前向きに取り組む	4
スポーツ	3
メンタルを鍛える	3
資格	2
社会人として基本を学ぶ	2
特になし	2
子育て	1
その他	1
無回答	10
合計	51

割合

- 回答者数 51名
- 男性 24名、女性 27名
- ◆ 新成人人数 96名に対し 53・1%
- ◆ 式典出席者数 75名に対し 68・0%

新成人は、これからのまちづくりに欠かせない方々であり、その考えや意見は町の将来に大きく関わります。新成人の「将来」や「町」についての考えや意見を把握するために、成人式前後にアンケートを記入いただきました。

将来町に住みますか？

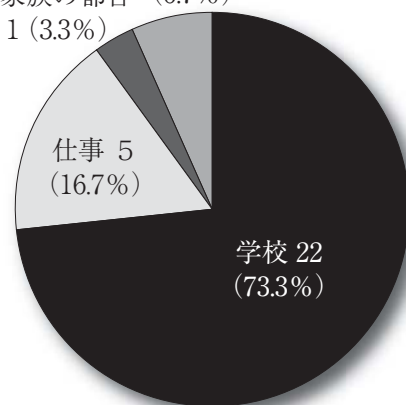
総数50名（現住所無回答の1名除く）

選択肢	町内在住		町外在住				合計	
	人数	割合	人数	割合	うち進学者		人数	割合
					人数	割合		
住む	9	45.0%	4	13.3%	3	13.6%	13	26.0%
できれば住みたい	5	25.0%	17	56.7%	12	54.5%	22	44.0%
たぶん住まない	2	10.0%	2	6.7%	2	9.1%	4	8.0%
住まない	3	15.0%	5	16.7%	4	18.2%	8	16.0%
無回答（未定含む）	1	5.0%	2	6.7%	1	4.5%	3	6.0%
合計	20		30		22		50	

町外在住の理由は？

総数30名

無回答 2
 家族の都合 (6.7%)
 1 (3.3%)



アンケート結果の考察

約6割の新成人が町外に住んでいる。町外在住理由の約7割が「学校」への進学。「将来町に住む（できれば）」は、町内・外在住者とも7割。多くの新成人は、将来は町で暮らすことを望んでいる。

ただし、町外在住者の56・7%は「できれば住みたい」。「できれば」と躊躇する理由を、本アンケートから直説把握することは難しく、「住まない（たぶん）」理由からの推測にとどまる。

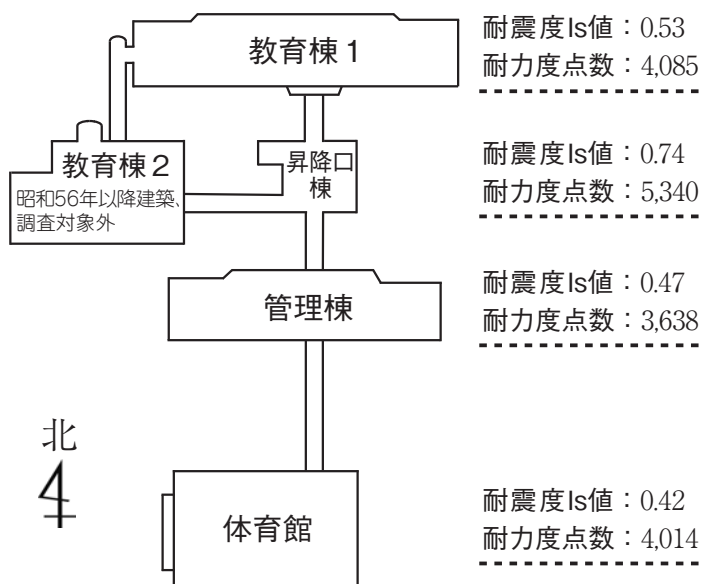
人口増と若者の希望を叶えるためにも、時期を捉えて正確な理由把握に努める必要がある。

町に住まない、たぶん住まない理由	回答数
働きたい企業が県外	1
交通の便が悪い	1
色んな所が見たい	1
県外移住が希望	1
仕事がない	1
無回答	8
合計	13

理由	回答数
まだ決まっていない	3

町に住む、できれば住みたい理由	回答数
好きだから	7
家があるから	3
生まれ育ったから	3
落ち着くから	2
帰りたいから	2
住みやすいから	2
親の面倒	1
仕事をしているから	1
まちづくりをしたい	1
無回答	12
合計	34

第一小学校の耐震度・耐力度調査結果



第一小学校全面改築

耐震診断の経過

学校は、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には緊急避難場所の役割も果たします。そのため、災害に強い施設として、その安全性の確保は極めて重要です。

文部科学省では、公立学校施設の耐震化を平成27年度末までのできるだけ早い時期に完了させるという目標を打ち出しました。

町内には昭和56年の新耐震基準施行前に建築された学校は3校あり、第一小学校・手ノ子小学校・中津川小中学校の体育館です。

既に第一小と手ノ子小については耐震診断を行いました。中津川小中学校の体育館は、学校閉校が決まりましたが、避難所や地域活動の際に使用することを考慮して、今年度中に耐震診断を行う予定です。

補強より改築で

町内で最も古い小学校校舎の第一小学校（昭和45年から46年にかけて建設）は耐震診断とともに耐力度調査も行いました。

その結果、耐力度においてより数値が低く、早急な安全確保を図る必要性があることが判明しました。

町教育委員会では、昨年8月以降、教育委員会協議会において「第一小は、築40年が経過しているため、将来の学校経営を考え、耐震補強より全面改築が望ましい」「耐震化は喫緊の課題であり、現在の地での改築が好ましい」などの意見をとりまとめ町長に提言。

町および教育委員会では、議会との協議を踏まえ現在地において全面改築を行う予定です。

新校舎完成は

平成27年度の予定

今年3月に改築に向けて、PTA役員、学校、学校後援会、中・萩生・黒沢の地区協議会長などによる改築検討委員会を設置。全体的なイメージ（学校に求められる設備、地域公共施設や防災・避難所としての機能など）の取りまとめに取り組みを進めました。

8月末には、幼児施設の保護者代表や専門家を加え建設検討委員会に再編し、先進地視察や地域の方から意見募集などを経て、今年度中に基本構想を策定し、平成27年度の新校舎完成を目指します。

●改築へのご意見募集

様式／住所・氏名を記載した任意の様式
提出方法／郵送、FAX、メール、直接持参
提出先
〒999-0696 飯豊町大字椿2888番地 役場教育文化課学校教育振興室
FAX：0238-72-3827
✉：i-gakkou@town.iide.yamagata.jp
募集期限／10月12日(金)まで

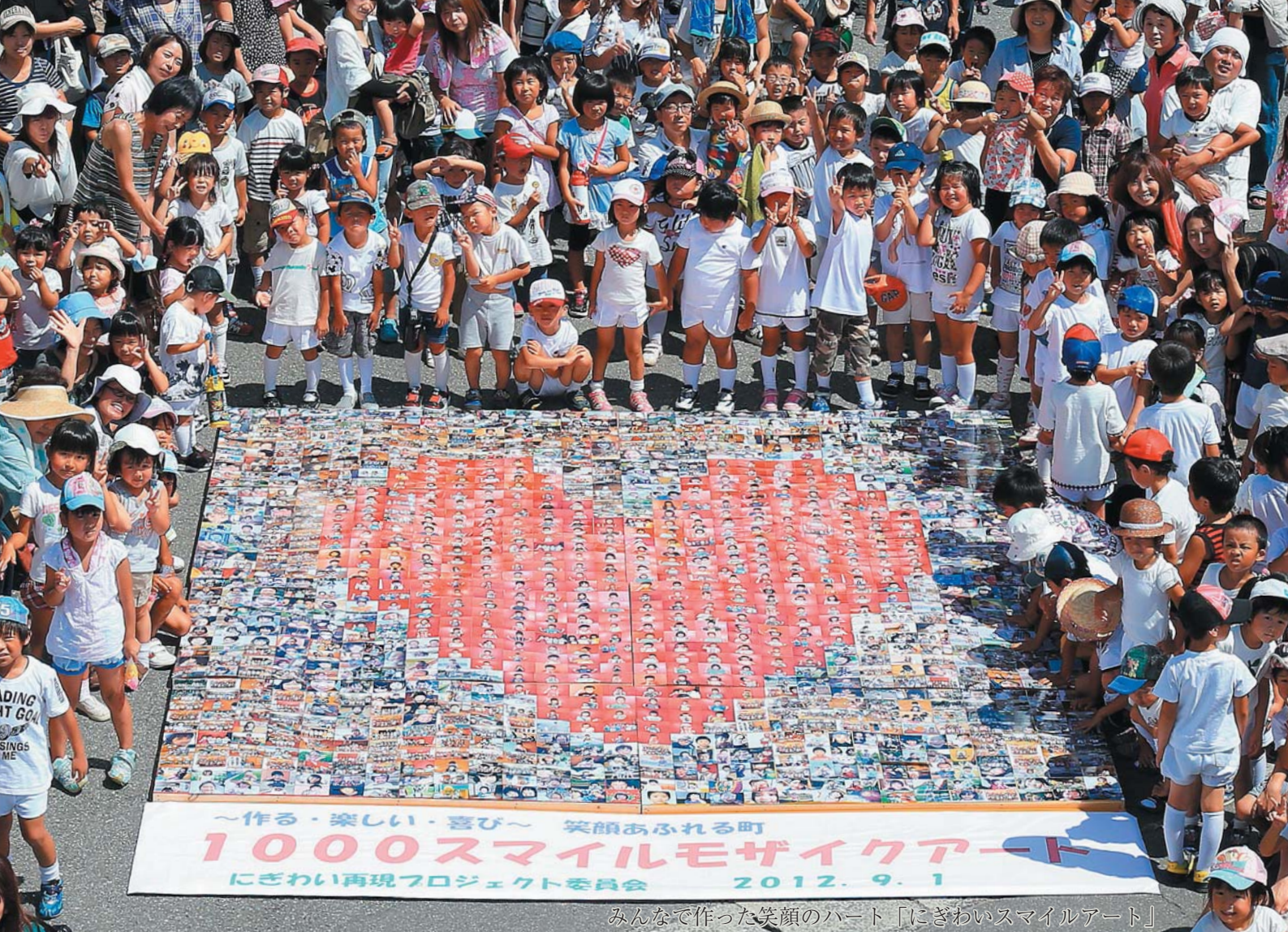
用語解説

「耐震診断」・「耐力度調査」

- 耐震診断は、震度6強の地震に対する安全性を構造力学上診断します。Is値で表され、文科省は学校施設を0.7以上にしよう求めています。
- 耐力度調査は、建物の構造耐力・経年による耐力低下・立地条件による影響を総合的に調査し、老朽化を総合的に評価します。点数で表され、4,500点未満は文科省の改築要件です。

耐震診断基準表

Is値	倒壊・崩壊の危険性
0.6以上	低い
0.3以上 0.6未満	ある
0.3未満	高い



いいで “めざみの里”まつり

今年のテーマは「繋がる」

2012.9.1 町民総合センター「あ〜す」

会場全体に笑顔の輪が繋がりました

記念の第20回

9月1日、「あ〜す」で、20回目となる「いいでめざみの里まつり」が開催されました。初企画のイベントも多く、残暑のなか多くの町民の方が来場し、例年をしのぐ熱気と盛り上がりを見せました。町内すべての幼児施設の園児による「ちびっこ獅子」。黒山の人だかりを前に、臆せず元気いっばいに舞う獅子、それをいきおいづける笛太鼓のお囃子や先導する提灯行列。獅子と警護の力比べでは、いきおい余って獅子から顔が出てしまうほど。たくましさや愛嬌のあるちびっこ獅子は、会場を大いに和ませました。

にぎわい再現プロジェクト委員会による「にぎわいスマイルアート」では、子どもたちのとびっきりの笑顔の写真約千枚を張り合わせ、ハートの形を表現しました（上の写真）。

町民総参加によるWA踊りでは、「花笠音頭」も行われ、町内外から28団体、1325人が参加しました。そのほか、「赤ちゃんハイハイ競走」、「ファミリーコンサート」などが行われました。ファイナレには約250発の花火が打ち上げられました。締めくくりにスターマインに照らされた会場には、世代を超えた笑顔の輪が繋がっていました。



ピンと張った幕から、獅子と警護の真剣さが伝わる「ちびっこ獅子」



順番待ちの行列ができた「フワフワ滑り台」



新たな継承者が育つ「中獅子踊り」



「中津川小中学校
よさこいソーラン」



会場全体で歌い上げる「いつも心に」



大輪の花火を見上げる会場内の笑顔



鮮やかな花笠を手に、優雅な舞を披露する踊り手たち「WA踊り」

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線225



第1回中村夏祭り

世代間交流で地域を元気に

8月19日、中村夏祭りが、中村原広場で開かれました。地域の方が集える場を作り出そうと「中村夏祭り実行委員会」(長岡英雄委員長)が企画し、今年が初開催。提灯やススキで装飾された会場で、歌謡ショーやめざみのWA踊りが行われ、フィナーレには約250発の花火が夜空を彩りました。青年部による売店は、弾む会話で活気にあふれ大盛況でした。長岡委員長は「世代を問わず多くの方に参加いただき、感謝です」と参加者の笑顔を見ながら話してくださいました。



飯豊分校閉校記念企画「校舎公開」

こみ上げる懐かしさ



8月6日から12日にかけて、県立置賜農業高等学校飯豊分校の閉校記念として「校舎公開」が行われました。来校者には、生徒が校舎を案内し、各部屋や展示物などを説明していました。館石政一さん(黒沢)は、生徒の説明を聞き終えると「この生徒会室と更衣室は、昔は一つの部屋で、卓球台が置いてあった。上級生も下級生も集まる交流の場だった」と自分が通っていた頃の思い出を語ってくださいました。

第13回真夏の雪まつり

帰省中の楽しみに定着



8月15日、真夏の雪まつりが、物産館で行われました。毎年お盆に開催し、今年で13回目。中庭に作られた雪の特設広場では、来館者が自由に雪と触れ合えるほか、親子ソリ競技やスノーフラッグ、雪上スイカわりなどの競技が行われました。河北町から添川に帰省中の家族は「工夫を凝らした楽しい企画で1日中いても飽きない。毎年このイベントを帰省中の予定に入れています」と話してくださいました。



第22回めざまみの里かかし祭り

個性的な“かかし”がずらり

8月18日、中部地区公民館でめざまみの里かかし祭りが開かれ、16作品が展示されました。ロンドン五輪やスカイツリーなど“今”をとらえた作品や昔話の名シーンを再現した作品など、力作が並びました。会場では、ミニSL乗車や風船飛ばしなども行われ、親子連れでにぎわいました。かかしコンテスト子供の部グランプリを受賞した石原子ども育成会の嘉藤晶さんは「かかしを覆う布を丁寧に縫うことを心がけました」と話してくれました。

キャリア教育&心を育む学校給食週間

農業を学び、産物を味わう



8月24日、第一小学校6年生を対象に、学校給食の食材を通して職業観や勤労観を育む教室が行われました。講師に、キュウリ生産者の小川雅憲さん(椿)が招かれ、農業を継いだ思いとともに「自然相手です苦勞が多いが、“おいしい”の言葉に幸せを感じます」と仕事の魅力を話されました。その日の給食には小川さんが生産したキュウリが出され、児童たちはおいしそうにほお張っていました。

どぶロックフェスタ2012

熱い！オヤジたちのロック



8月5日、どぶロックフェスタ2012が、源流の森野外ステージで開催されました。喜多方市につながる林道の来年完成を控えたイベントとして「どぶロックフェスタ2012実行委員会」(伊藤和憲委員長)が企画。6組のアーティストが出演し、ロックやロカビリーを熱唱しました。会場は熱気に包まれ「お父さんカッコイイ」など、普段と違う“オヤジ”の姿に黄色い声援が飛んでいました。

交通安全キャンペーン

まい
米ペースで安全運転

8月10日、お盆の帰省者(車)に対する交通安全キャンペーンが、道の駅いで駐車場で行われました。町交通安全母の会(伊藤喜和子会長)が企画し、交通安全協会や長井警察署など関係者約30名が参加。「マイペースで安全に運転してください」と声掛けしながら、町内産のお米などが入ったエコバックをドライバーに手渡しました。思いがけないプレゼントと温かい言葉を受け取ったドライバーは「安全運転を意識して家族のもとに帰ります」と応じていました。





8/2

永年勤続優良社員表彰式・新規
学卒就職者激励会 (あ～す)



8/2

めざみの里川柳大会
(中部地区公民館)



スナップショット

「まちかどNEWS」で紹介しきれない地域
のできごとを1枚の写真でご紹介します



8/9

山形県市町村教育委員大会
(あ～す)



8/5

ロンドン五輪パブリックビュー
イング (園芸ハウス)



8/4

しろあと教室「萩生城跡に係る
講演会」 (中部地区公民館)



8/14

添川温泉ふるさと祭り
(しらさぎ荘前広場)



8/14

町無形民俗文化財の椿念仏踊り
(椿地区)



8/12

男声合唱団ブロージットが介護
施設で歌声披露 (美の里)



8/28

おじいちゃん・おばあちゃんへ絵手
紙コンテスト (町社会福祉協議会)



8/26

町消防団機関講習会
(あ～す)



8/24

町内小学校の水泳大会
(町民プールなど)



①…1位、②…2位、③…3位 (敬称略)

◆山形県小学生陸上競技大会

◇5年男子100m③舟山 奏

◆西置賜地区中学校体育大会

◇卓球男子③安部 真人

◆山形県中学校総合体育大会

◇水泳男子

100mバタフライ①志田 龍星

200mバタフライ①志田 龍星

◇陸上男子

走り幅跳び③渡邊 俊輝

◆東北中学校体育大会

◇水泳男子

100mバタフライ②志田 龍星

200mバタフライ②志田 龍星

◆全国中学校体育大会

◇水泳男子

100mバタフライ(出場) 志田 龍星

200mバタフライ(出場) 志田 龍星

◆国民体育大会山形県予選会

◇水泳少年B(中学3年生+高校1年生)

100mバタフライ①志田 龍星

200m個人メドレー③志田 龍星

◆県美展

県展賞(作品名:「^{ならがれちゅう}槲枯虫」) / 館石 茂

◆こども県展

入選 / 嶋貫 まゆみ(第一小)、鈴木

慎(同)、鈴木恋々南(同)、手塚叫翔(同)、石谷流星(添川小)、井上勝太郎(手ノ子小)、横山佑真(同)、伊藤琉久(第二小)、梅津美鈴(同)、鈴木朋幸(中津川小)、伊藤拓馬(飯豊中)、佐藤里香(同)、井上優也(同)、伊藤寛大(中津川中)、高橋空(飯豊中)、八島沙希(同)、山口勇毅(同)、高橋未咲(中津川中)

◆山形県優良建設工事顕彰

農林水産部門 / (株)三ツ柳道路

◆山形県シニアゴルフ選手権競技・日本スポーツマスターズ山形県予選会

ゴルフ / ②鈴木 健児

◆道路ふれあい月間愛護団体表彰

山形河川国道事務所長表彰 / 上町衛生組合

「住民主体のまちづくり」が表彰を受ける

7月8日、東京大学で、町は、農村計画学会(山路永司会長:東京大学大学院教授)より、本町が昭和49年以来取り組んできた「住民主体のまちづくり」の先進性が高く評価され、表彰を受けました。

町は、住民主体のまちづくりの理念の下、昭和47年に町民各層からなる120人委員会を組織し、昭和49年に総合計画「手づくりのまちいいで」を策定しました。この理念は、昨年度策定の第4次総合計画にも受け継がれています。

表彰式後に、表彰を受けた30地区を代表して、後藤町長が記念講演を行いました。



代々の総合計画



7月末に「夏休みふるさと山村留学」があり、都会の子どもたち26名が中津川で4日間過ごしました。私は、受け入れ側の里親さんのお手伝いとして参加しました。初めは緊張気味だった子どもたちとも「あなたたち息がぴったりじゃない」と里親さんから褒められるほどに意気投合し

ました。後日、ある男の子から手紙が届き、そこには「たくさんの「ありがとう」と「楽しかった」という言葉、最後には「離れていても忘れないからね」という内容が書かれていました。子どもたちとそんな関係を築けたのは、中津川の大自然やここに住む方々の人柄のおかげです。この地区を支える力や魅力という宝物を発見することができました。楽しかった分、見送る時の寂しさは倍になりました。中津川の里親さんの良さを知り、またお手伝いができること、新しい出会いが待っていることがとても楽しみです。

協力隊の活動は半分を過ぎようとしています。限られた時間の中で一つ一つの出会いを大切にしながら多くのことを学び、この地区の宝物を発見していきたいと改めて感じています。

発信③ 出合いの宝庫 中津川

佐々木 大依 (とちえ) 出身地 / 岐阜県笠松町

緑のふるさと協力隊



直伝おふくろの味



ナスの冷製揚げ出し

鮮やかな色合いが清涼感を演出

【材料】

◇長ナス

◇だし汁

◇しょう油

◇砂糖

◇酢

◇擦りおろしショウガ

◇シソ

5本
50cc
50cc
5[㍉]㍉_㍉
25cc
適宜
適宜

【作り方】

- ① だし汁、しょう油、砂糖、酢、擦りおろしショウガを混ぜておく。
- ② ヘタを切り落とした長ナスを、縦に切り、皮の所どころを縦にむく。
- ③ ②を180度の油に皮のほうから入れ、途中返して火を通す。
- ④ 火が通ったら、バットなどで軽く油を切り、溜めた氷水にくぐらせて、油と粗熱を取る。
- ⑤ 氷水からナスを取り出し、キッチンペーパーなどで水分をふき取った後に、①に2時間ほど浸す。皿に盛り付けて薬味を乗せて出来上がり。

涼しい夏野菜料理は、 家族にも好評です



手ノ子地区
食生活改善推進員
古川伸江さん

暑い夏は、ナスが旬を迎える時期。畑では紫色を濃くして収穫されるのを待っています。ナスの揚げ出しは、揚げたても美味しいですが、暑い時期は、箸が進まない方もいらっしゃいます。おいしさはそのままに見た目を涼しく演出しようと考えた料理です。

ポイントは、溜めた氷水にサッとくぐすことです。余分な脂が落ち、味わいがすっきりします。さらに、鮮やかな色が長持ちするようです。

使用するナスは、長ナスをお勧めします。丸ナスは小さいと苦みが残るようです。皮はできるだけ薄くむくと、出来上がりの色がきれいに出て涼しさが増します。

薬味のシソを、ネギやミョウガなどに変えるだけで味わいが変わるので、色々とお試しください。



こどもみらい館の予定表 (9月・10月の日程)

9月19日(水) 10:30～	かんがるー広場
20日(木) 10:30～	栄養士さんの指導
21日(金)～28日(金)	なかよし広場 ※要予約
場所は町内の各幼児施設	
10月3日(水) 10:30～	おはなし広場
11日(木) 10:00～	ミニ運動会
12日(金) 10:00～	リトミック3歳児

ミニ運動会

内容／かけっこ、スイカ運び競走、宝物探しなど多彩な種目にチャレンジ。さあ、こどもみらい館にかけよう! ※要予約

10月11日(土) 10:30～
こどもみらい館

episode

子育て応援談

kosodate
ouendan

食育のすすめ

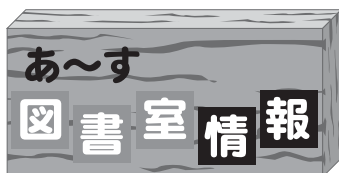
「故郷からの荷物は宝物」

ようやく野菜が採れる季節となり、家を離れている娘へ荷物にして送りました。次の日「宝箱届きました。ありがとう」と娘からのメール。祖父の作る無農薬野菜で育った娘達は、トマトを畑で採ってすぐ食べたり、氷水の中に入れたきゅうりに味噌をつけて食べたりといった経験をし、素材のおいしさを知っています。そして、味覚と同時に、飯豊で過ごしたなつかしい思い出や故郷の空気を「宝箱」から感じ取ったようです。

お盆に帰省した娘は「やっぱりおじいちゃんの野菜は最高!」と言って、祖父がこの時期に収穫できるように作ったとうもろこしをほお張っていました。まさに食は身も心も育て、癒し、命を育む営みへとつながっているのだと思います。

●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日／火曜日から土曜日 休館日／月曜日、日曜日、祝祭日
利用時間／8:30～12:00、13:00～17:00



今月の おすすめ図書



児童図書

ふたごのしろくま とりさん、なんば?のまき

あべ弘士／作 講談社

ふたごのしろくまが、母さんに教わりながら、鳥の数を数えています。でも、なかなか上手に数えられなくて…。氷の島に住む、しろくまの子と母さんぐまの楽しいお話。



児童図書

いのちを感じる心が育つ おはなし

主婦の友社編 主婦の友社

いのちのきらめきや、はかなさ。人間のたくましさや弱さ、生きるために必要なことなど。「いのち」について考えるおはなしを収録。教訓や、読み方のアドバイスも掲載。



一般図書

虚像の道化師

東野圭吾／著 文藝春秋

新興宗教の教祖が送る念、奇妙な幻聴、不可思議な殺人現場や犯人が仕掛けたトラップ…。ガリレオこと湯川が、すべての謎を解き明かす。人気シリーズ最新刊。



一般図書

おもかげ復元師

笹原留似子／著 ポプラ社

なきがらに笑顔を戻し、遺族の悲しみを生きる力に変えていく。東日本大震災後、ボランティアで、300人以上を復元した女性復元納棺師が、現場で感じ、伝えてきたことを綴る。

- 開館時間 午前9時～午後6時(5月～10月)
※土・日曜日は午前9時～午後5時まで
- 休館日 毎週月曜日・祝日
- 問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 ☎72-3111

ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



華道

いけのぼう か どう かい 池坊華道会

- ◆指導者／嘉藤美千子さん(萩生)、雅号:嘉藤美風
- ◆活動内容／月2回程度の生け花教室。花展や文化祭などに生け花出展。今後はボランティアで生け花教室を計画中
- ◆会員／4名

●池坊華道会への入会などのお問い合わせは、嘉藤美千子さんまで☎72-2014

◆会員募集対象

経験・年齢・性別・住所を問わず入会可

◆ピーアール

池坊はいけばなの根源と呼ばれ、1462年に初めて文献に登場し、今年が550年の節目の年です。「道」が付いた習い事は、難しいものと思われがちですが、池坊華道会では、正会員のほかに、20代から70代の方々が、趣味や息抜きとして生け花をされています。

嘉藤さんは「忙しい日々の中でも、会員の皆さんがゆったりした気持ちで花を生け、心が癒される会を目指しています」と話します。



嘉藤さんにとって華道とは…

母のように、心を癒し、
教え導いてくれるもの

◀嘉藤美千子さん

連載 随想

町長の思ひ歩き

39

後藤 幸平

「5S・ごえす」

町長室はファイルの山、と聞いたらどう思われるだろうか。もちろん地震の後のように崩れたままになっているわけではない。キッチンと書棚に整理されてはいる。しかし、もう並べる場所さえない状態となった。毎日繰り出される重要な案件、国や県はあらゆる分野で制度改革の真つ最中であり飯豊の将来を左右するかと思われる貴重なデータが次々と舞い込む。話し合いを記録した議事録や会議録、そして企画や計画。もうファイルはどれもパンとはちきれそうなのである。

就任してまもなく、必要な書類は職員がほとんど保存しているので手元に置く必要はありません、その都度聞いてくださいと言われたのだった。今日の状態を予測しての忠告だったのだろうか。ただ常にスタッフも傍にいないとは限らないのである。しかも自分の文書整理には流儀があった。

情報を整理し着実に必要な文書を探すには三つの方法がある。一つは情報の出所、一つはテーマ別、もう一つは時系列である。これを常に分

かりやすく整理することが出来るかどうかが事業の成否を左右するのだ。今ではパソコンの出現で文書ファイルに付箋をつけることが簡単に出来るようになってそれは一挙に解決した。ただ問題は、すべての文書や情報が電子化されることはありえないことにある。

そこで5S（ごえす）の登場である。整理（せいり、Seiri）いらぬものを捨てる。整頓（せいとん、Seiton）決められた物を決められた場所に置き、いつでも取り出せる状態にしておく。清掃（せいそう、Seisou）常に掃除をして、職場を清潔に保つ。清潔（せいけつ、Seiketsu）整理・整頓・清掃を維持する。躰（しつけ、Shitsuke）決められたルール・手順を正しく守る習慣をつける。

製造業の品質改善運動でよく提唱される。その5Sがまちの景観を美しく保つにも有効という意見を最近聞いた。しかし、いらぬものを捨てるというところがかなり引つかかる。捨てるものではないから蓄積する。ましてや景観においてはである。

健康福祉課からの健康コラム

health column

健康に関する身近なテーマを2つ取り上げて、皆さんの健康づくりを応援します。

今月のテーマ ・運動
 ・転倒予防運動



知っておこう体のこと

充実した毎日を過ごしていても、40・50歳代は健康を意識した生活が特に必要になる時期です。生活習慣を見直し、運動をすることで、体の機能の衰えを緩やかにすることが出来ます。

加齢による体の変化と留意点

年代	変化	留意点
30歳代	筋肉が減り始め、脂肪がつきやすくなる	筋肉量が減り始めることで、基礎代謝が急激に減ります。運動不足や暴飲暴食をする生活では、どんどん脂肪が増えます
40歳代	体脂肪、特に内臓脂肪が増えてくる	食生活の偏りや喫煙、運動不足などの習慣から内臓脂肪が増え、高血圧、高血糖、脂質異常などの状態が現れます
50・60歳代	体の機能の衰え	活動量が減り、筋肉や骨などが衰えます。記憶力や免疫力の低下、ホルモンバランスの乱れなどの老化現象が現れます

運動は欠かせない

①生活習慣病を予防

身体の余分な脂肪をエネルギー

として燃やし、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病を予防します。また、心肺機能を活発にして筋力や健康の維持に役立ちます。

②身体機能を強化

筋肉や骨は、運動による刺激でより強く丈夫になります。また持久力や柔軟性なども高まることで、腰痛や肩こりなどが改善されます。

③脳を活性化

適度な運動は、体の機能調節に重要な自律神経やホルモンバランスを整え、ストレスへの耐性を高めます。また、気分転換にも最適で精神的な疲労も解消できます。

意識して体を動かす

運動というと「つらい」「きつい」というイメージがありますが、できることから始めてみませんか。まずは、意識して体を動かしてみましよう。

◆運動を増やすヒント

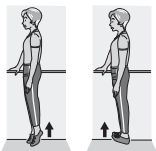
- ①楽しんでできる運動を選ぶ
 - ②誰かと共にできる運動を選ぶ
 - ③気分転換を兼ねて運動をする
- ◆生活で活動量を増やすヒント
- ①車はなるべく遠くに停める
 - ②階段を使う
 - ③何かをしながら筋力強化

【例】テレビを見ながら腹筋、歯磨きしながらスクワットなど

足の筋力アップで転倒予防

太ももの筋力やバランス感覚が低下すると、転倒したりつまずいたりすることが多くなります。「足上げ」は特に太ももの筋力アップに効果的です。毎日少しずつ継続してみてください。回数の目安は10回です。

3. 両足あげせらし



- ①イスや壁につかまってまっすぐに立つ
- ②かかとをあげる
- ③つま先をあげる

1. 足上げ



- ①膝を曲げたまま片足もちあげる
 - ②反対側も行う
- ※背中が丸まらないように注意

4. つぎ足歩行



- ①線の上に立つ
 - ②つま先にかかとをつけるように歩く
 - ③10歩行う
- ※ふらつきそうな時は、必ず何かにつかまって行ないましょう

2. 足せらし



- ①イスに両手でつかまる
- ②片足を後ろに持ち上げる
- ③反対側も行う

厚生労働省「介護予防マニュアル」より

飯豊町役場

電話 0238-72-2111
FAX 72-3827
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

平成25年度産「つや姫」
生産者募集

- ◆対象者／町内米生産者
- ◆申請書の交付
申請書を役場産業振興課または米集荷業者（JA飯豊支店・マルシチ米穀）に用意しています
- ◆申請書提出期限
10月5日（金）まで米集荷業者に提出
- ◆認定要件
稲作を経営の柱とし、水田経営面積が3ha以上であること。このほかにも要件がありますので、詳細は下記までお問い合わせください
- ◆問合せ先
役場産業振興課農業振興室
☎72-2111 内線263

秋の交通安全県民運動

日没が早まる秋以降は、夕暮れ時から夜間にかけて交通事故が多発します。交通事故防止を徹底しましょう。

- ◆期間
9月21日（金）～9月30日（日）
※30日は交通事故死ゼロを目指す日です
- ◆運動の基本
子どもと高齢者の交通事故防止
- ◆運動の重点
○夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止（反射材用品などの着用推進と自転車前照灯の点灯の徹底）
○すべての座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい着用の徹底
○飲酒運転の根絶
○道路横断時・交差点における交通事故防止
- ◆問合せ先／役場住民税務課生活環境室 ☎72-2111内線132

山形県動物愛護
フェスティバル

- ◆日時／9月22日（土）11:00～15:30
イベントごとに開催時間は異なります
- ◆場所／村山総合支庁駐車場（山形市）
※雨天時は内容を変更して開催
- ◆内容と留意点
○犬・猫の新しい飼い主探し
当日開催の「犬・猫の正しい飼い方教室」の受講が必須
- ペット健康相談
獣医による健康ケアのアドバイス
- ペット似顔絵コーナー
参加料500円、当日申し込みで先着30名
- 愛犬ミニ運動会
当日申し込みで先着20組
- 猫の飼い方相談
- 愛犬のしつけ教室
事前予約で先着20組
- ◆問合せ先／山形県食品安全衛生課
☎023-630-2677

山形聾学校
学校公開

- ◆日時／10月9日（火）10:00～12:30
- ◆会場／山形県立山形聾学校（山形市）
- ◆内容／学校紹介、授業参観、研修会（きこえない、きこえにくい体験）
- ◆参加料／無料
- ◆対象／○特別支援教育や聾学校に関心のある方
○医療関係者および教育関係者
○福祉、労働、母子保健事業などに携わっている方
- ◆申込／10月3日（水）まで下記にお申込みください
- ◆問合せ先／山形県立山形聾学校 ☎023-688-2316
〒990-2314 山形県山形市大字谷柏20番地

宇都宮大学混声合唱団
サマーコンサート in 飯豊

- ◆日時／9月26日（水）
開場18:30 開演19:00
- ◆内容
○合唱「鬼の子のうた」より
○合唱劇「なめとこ山の熊」
原作：宮沢賢治、指揮：栗山文昭
演奏：宇都宮大学混声合唱団ほか
- コーラル・ド・めざみ、プロージットの合唱や「飯豊山」合同演奏
- ◆会場／町民総合センター「あ～す」
- ◆入場料場／全席自由で一般1,000円、高校生以下無料
- ◆問合せ先／町民総合センター「あ～す」 ☎72-3111

おきたま森の感謝祭2012

- ◆日時／9月29日（土）10:00～13:00
- ◆会場／白布森の館周辺（米沢市）
- ◆内容／木工クラフト、森林トレッキング、ネイチャーゲーム、チェーンソーアート、カシス苗木プレゼント、ナメコ汁振る舞いなど※プレゼントと振る舞いは数に限りあり
- ◆参加料／無料
- ◆その他／森林トレッキングとネイチャーゲームは予約が必要です
- ◆問合せ先／置賜総合支庁森林整備課 ☎0238-35-9053

救急フォーラム置賜2012

- ◆日時／9月22日（土）13:40～16:30
- ◆会場／南陽市宮内交流プラザ「蔵楽」
- ◆内容／講演「急病時の対応・受診の仕方」など、寸劇、実技指導
- ◆参加料／無料
- ◆問合せ先／町健康福祉課健康医療室 ☎86-2338

戸籍の窓

(8月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所 氏名
 (椿 木村 渉さん
 川西町 金子 恵美さん
 (黒 沢 佐藤 大観さん
 黒 沢 手塚 沙耶香さん

お誕生おめでとうございます

住所 氏名 ご両親
 小白川 井上 陽斗くん (洋平 恵
 白川 高橋 葉月ちゃん (達哉 千佳

心からおくやみ申し上げます

住所 氏名 年齢
 中北酒町 長岡 幸子さん 85
 添川 上町 馬卸 ヨネさん 81
 松原 井上 一夫さん 88
 黒沢 深淵西 木村 吉榮さん 87
 萩生 中ノ浦 新野 みつさん 89
 萩生 萩生町 樋口 ケサエさん 97
 添川 大旦 佐原 美枝さん 88
 添川 渡部 せいさん 89
 添川 遠藤 信子さん 92
 椿 駅前 高橋 二男さん 69
 手ノ子 向原北 伊藤 陽子さん 69

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

8月分 () 内は対前月比

世帯数	2,400 (12)	転入	17	
人口	男	3,893 (8)	転出	7
	女	4,150 (-6)	出生	3
計	8,043 (2)	死亡	11	

※7月9日からの住民基本台帳法改正にともない、外国人住民も上記数値に含みます。

愛犬のしつけ方教室

- ◆日時/10月6日(出) 9:30~12:00
- ◆場所/相生橋下の公園内(米沢市)
- ◆申込方法/電話で申し込み(先着45頭)
- ◆申込締切/9月28日(金)まで
- ◆負担金/犬1頭につき1,500円
- ◆その他/犬の参加資格がありますので、下記まで問い合わせください
- ◆申込・問合せ先/置賜保健所生活衛生課 ☎0238-22-3750

モンテディオ山形「飯豊町応援デー」

モンテディオ山形を町民あげて応援しよう。

- ◆日時/9月30日(日) 16:00開始
 - ◆対戦相手/東京ヴェルディー
 - ◆会場/NDソフトスタジアム山形(天童市)
 - ◆座席/バックスタンド南席
 - ◆販売チケット
 ○一般1,500円(通常3,000円)
 ○小中高生無料(通常1,000円)
 - ◆購入対象者/町内在住または在勤の方
 - ◆販売期間/9月28日(金)まで
 - ◆販売窓口・問合せ先/○役場教育文化課生涯学習振興室 ☎72-2111内線162(土・日・祝日除く)○町民スポーツセンター ☎72-3086(日・月・木・祝日除く)
- ※試合当日も会場応援デーにて半額チケットを販売します

JRP2012年写真展「視点」全国巡回展(仙台展)

- 横山哲夫さん(小白川)の作品も展示
- ◆日時/10月16日(火)から21日(日)
- ◆場所/宮城県美術館県民ギャラリー(仙台市)
- ◆問合せ先/日本リアリズム写真集団本郷浩 ☎022-362-7081

した。(かつみ)

◇9月になりだいぶ過ごしやすくなりました。日中は、残暑のため冷たい麦茶がおいしく感じますが、夜になれば、汗をかかずとも眠れるし風には涼しさを感じます。窓越しに聞こえる音は、カエルの合唱から虫の音に変わっています。身の回りから秋の始まりを感じていると、なんとテレビではスタッドレスタイヤの宣伝が流れていました。商売として先手を打った内容を宣伝していると分かってはいますが、冬が確実に迫っていることを突きつけられたようで、一抹の寂しさを感じました。

職場のトラブルや年金などの無料相談

- ◆日時/毎月第2・4土曜日 9:00~13:00 ※9月22日を除く
- ◆場所/錦産業会館(山形市)
- ◆相談方法/事前に電話で予約し、後日面談による相談
- ◆予約受付時間/平日9:00~16:00
- ◆予約・問合せ先/県社会保険労務士会年金・労働相談室 ☎023-631-2959

学生と若者のための就職面接会

- ◆日時/10月11日(木) 13:30~16:00
- ◆会場/グランドホクヨウ(米沢市)
- ◆参加対象者
 ○平成25年3月大学など卒業予定者(既卒3年以内の者を含む)
 ○概ね45歳未満の若年者
- ◆参加料/無料
- ◆参集企業/置賜管内に本社または就業場所があってハローワークに求人票を提出している企業50社(予定)
- ◆問合せ先
 ハローワーク長井 ☎84-8609

地域生活支援セミナー in おきたま

- 障がいのある方が、働き・暮らすための課題や支援のあり方を考えましょう。
- ◆日時/9月25日(火) 13:00~16:00
 - ◆会場/タスパークホテル(長井市)
 - ◆参加料/無料
 - ◆内容/
 ○講演「発達障がいのある方の就労支援を考える」
 ○シンポジウム「はたらく・くらすを支える」
 - ◆問合せ先/サポートセンターおきたま ☎88-5357



文化財は、郷土の歴史、民俗、信仰、自然を物語る町の宝。継承し守り続けている人たちがいるから輝く価値がある。



写真／8月16日に行われた諏訪神社例大祭前夜祭時の神輿渡御行列の一部。手前の子どもたちは「鳥毛」と呼ばれ、道路をはらい清め、横断する人を制止する役目

Treasures in Iide Town

24

selection

諏訪神社神輿渡御行列

昭和59年度町無形民俗文化財指定

Interview

守り続ける人たち



諏訪神社 氏子総代長

木村 勝男さん
(萩生)

受け継がれる古式の祭り

諏訪神社神輿渡御行列は、例大祭前夜祭（8月16日）に行われ、高張を先頭に、獅子やお神輿などが続きます。諏訪神社の獅子は、舞の勇壮さから「荒獅子」とも呼ばれています。行列には「やっこ」や「鳥毛」などもおり、カメラ持参の見物客にとっては、絶好の被写体となっているようです。

数年前になりますが、落雷で萩生地区が停電になり、提灯の明かりだけが灯った中を獅子舞が舞ったことがありました。300年前に思いをはせる幻想的な光景でした。

氏子の減少が心配ですが、祭りは地域の宝と考え、時代に合わせて工夫しながら継続に努力しています。

解説

諏訪神社神輿渡御行列

諏訪神社神輿渡御行列は、神輿と獅子舞を中心に、非常に多くの方がそれぞれの役割を担って執り行う壮大な行列である。警護と獅子の荒々しい力比べがあるため「萩生荒獅子まつり」ともいう。

伝承によれば、享保年間（1716～35）から一度も中断することなく約300年間継承されているという。天明年間（1781～88）に神輿を製造した記録が残っている。置賜地方では、このような神輿渡御行列はすでに衰退し、そのなかの獅子舞（ムカデ獅子）だけが残っている場合が多い。こうした意味でこの行列は古式を伝える大変貴重な伝統文化である。

昭和60年2月、町の無形民俗文化財に指定された。